

平成28年度 佐渡市算数部 活動報告

部長 藤井 憲之

1 研究主題 学力向上を目指した授業改善

2 研究の概要

各校の実態に応じて、研究主題につながるテーマを設定し、授業で見られた子どもの具体的な姿を基に、手立ての有効性を検討した。

3 研究の実際

(1) 授業研究会(年間3回)

- ① ア 期 日 6月15日(水)
イ 会 場 相川小学校
ウ 指導者 両津吉井小学校 校長 高橋 喜一郎様
エ 授業者 相川小学校 教諭 松田 絵里子
オ 単 元 第3学年「あまりのあるわり算」
カ 協議題



授業研①の様子

- ・子どもたちは、問いをもち、思考を深めていたか。

- ② ア 期 日 12月7日(水)
イ 会 場 相川小学校
ウ 指導者 前浜小学校 校長 清水 昭博 様
エ 授業者 羽茂小学校 教諭 山田 庸平
オ 単 元 第2学年「かけ算(3)」
カ 協議題



授業研②の様子

- ・子どもたちは、主体的にきまりを見付け、その有用性を感じていたか。

- ③ ア 期 日 1月18日(水)
イ 会 場 高千小学校
ウ 指導者 新穂小学校 校長 香遠 正浩 様
エ 授業者 高千小学校 教諭 池田 清太郎
オ 単 元 複式 第5学年 第6学年
「正多角形と円」「資料の調べ方」
カ 協議題



授業研③の様子

- ・問いをもたせる課題の工夫と、比較する思考を促す手立ては有効であったか。

4 成果と課題

今年度は、授業研究を中核とした活動を目指し、全て希望者による3回の授業研究会を実施した。授業研究会では、提案された手立ての有効性について、活発な意見交換が行われた。距離的な問題もあり、事前検討がスムーズに行えなかったため、事前検討の充実が課題である。